

鮎 2020 釣行記

2020年9月5日 ー小国川ー

釣行記

* 下線付き文字をクリックするとリンク先に飛びます

今シーズン最後の小国川釣行と思い、金曜の夕方にいわきを出発。今回は、単独でのんびり釣行です。現地には3日目となるEさんが行っているため、土曜日は一緒にできる予定。

金曜の夜10時過ぎに小国川観光近くの河川敷キャンプ場に到着。Eさんの車はあったけど、当然お休み中なので、少し離れた所に車を止めて、ストロングを寝酒に早々に就寝。

翌日、5時に起きるとEさんはまだ寝ているので、コンビニに行ったついでにオトリを購入。戻ってくるとEさんも起きていて朝の御挨拶。朝食を一緒に済ませて何時もより早いスタート。Eさんは、前回良い思いをしたこの場所(小国川観光前のチャラ)が気になるようなので、私は、午前中だけ東長沢に行き様子を見て、Eさんが帰るまでに戻ってくることにしました。

午前7時。さすがに先行者は居ないと思っていましたが、お泊まりの方が奥さんを残し、すでに川に入っています。朝飯前の釣り?お気持ちはよくわかります・・・

何時もの護岸前の瀬は空いているので、何時ものように中段くらいからオトリを入れていきます。前回来た時は、オトリの水温を合わせずに使ったため、最初からヨレヨレでしたが、今回は時間をかけて水温を合わせたので鼻管を付けるまでは元気。やっぱり水温合わせは必要だね〜と独り言を言いつつ沖へ誘導すると、どうもオトリがおかしい?あんなに元気だったのに、ぐったりしている・・・これはまずいと思い、いきなり本命の護岸際にねじ込むと運良く野アユがヒット!何とかオトリ交換ができました。最初のオトリはすでに瀕死状態。後で、もう一匹のオトリも死んでいたのがわかったので、本当に危ないところでした。原因は何なのでしょう?その後は、ぽつりぽつりは釣れるのですが、さすがに魚は薄い感じ。魚によっては若干婚姻色が出ているものもあります。8時くらいまで一通り瀬を釣ったところで、急に人が入り出し、あっという間に満員状態。今居る瀬落ちの頭しか釣りができない状態に。仕方ないので、大会並みにネチっこい釣りに変更。これが良かったのか?水温が上がって追いが良くなったのか?再びポツリポツリ釣れ始めました。とは言っても一番流れがキツく、底石も複雑な場所なので、バラしや根掛かりも多く、釣ってはロストの繰り返しで、10時半までに15尾程度。さすがにもう釣れなくなってきたので、Eさんが帰るまえに合流するため、下流に移動することに。

一関大橋に行くと、ドライブスルー方式のアユの塩焼きイベントが開催されていて、目当ての小国川観光前には行きにくい状況。例年、開催されているアユ祭りの代替イベントみたいです。仕方なく、一関大橋下流のトイレ前で休憩。程なくEさんが帰るためにやってきたので状況を聞くと、かなり厳しかったみたい。ということで、昼食を挟んで、このエリアでやることにしました。何時ものように左岸側の瀬に行ってみると、石がくすんでいてアユの気配がない。そこで、右岸側を攻めてみると、意外に良型3連発。これならと思い瀬を釣り下っていくと、全く釣れなくなりました。再び戻って瀬肩に入ると型は一回り小さいけど反応よく釣れだしました。でも、同じ瀬肩でやっていた人がこちらに寄ってきたので、ポイント



今年4度目?何時もの東長沢。雨の影響でやや増水気味



まだまだ綺麗な鮎が釣れてくれました。



小国川観光前のチャラ。独り占めです。



最大24cm。型も数もまずまずの釣果でした。

トが無くなってしまい終了。仕方ないので、車で大きく迂回して小国川観光前に行ってみる。さすがにイベントのお客さんで駐車場は一杯だけど、おかげで釣り人は誰も居ない。見渡す限りのチャラを釣り放題。でも、膝下の水深のチャラで釣れるのか不安。仕掛けも複合の005号だけ、竿を替えるのも面倒なので、競技Tのまま。0.5号のチビ玉を付けて引き泳がせでやってみることに。こんな浅いところでのオモリの釣りはやったことがないが、下流に送り出し、スライド気味に引いてくると、野アユが掛かってきた。同じような釣り方でポツリ・・・ポツリ。掛かり方は良いので、入れ掛かりになっても良さそうだけど、広範囲を引いてやっと釣れる感じ。試しに立て竿で泳がせてみるが掛かってこない。良くわからないけど、周囲には誰も居ないので、広範囲を移動しながら拾っていく。結局夕方1時間チョイで8尾を追加し、本日合計30尾。あまり釣れていない状況なので上出来きでしょう。

夜は、久しぶりにソロキャンプ。今年最後の小国川を満喫しました。

タックル	
竿	競技T90
水中糸	ランプレミアム005号
下付け糸	フロロ0.4号
ハリス	1.0号
針	マルチ6.5号4本針



久しぶりのソロキャンプ。
今回は白ワインを飲みたかったので、ムール貝のワイン蒸し、オイルサーディンのガーリック煮、豚肩ロースのボルシチで一人打ち上げ。